

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書の訂正報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第4項

**【提出先】** 四国財務局長

**【提出日】** 平成20年11月13日

**【四半期会計期間】** 第58期第1四半期(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

**【会社名】** 株式会社四電工

**【英訳名】** YONDENKO CORPORATION

**【代表者の役職氏名】** 取締役社長 栗田 昂

**【本店の所在の場所】** 香川県高松市松島町1丁目11番22号

**【電話番号】** 087-836-1111(代表)

**【事務連絡者氏名】** 経理部長 浪越 敬二

**【最寄りの連絡場所】** 香川県高松市松島町1丁目11番22号

**【電話番号】** 087-836-1111(代表)

**【事務連絡者氏名】** 経理部長 浪越 敬二

**【縦覧に供する場所】** 株式会社四電工徳島支店  
(徳島県徳島市中前川町5丁目1番地115)

株式会社四電工高知支店  
(高知県高知市棧橋通2丁目2番25号)

株式会社四電工愛媛支店  
(愛媛県松山市六軒家町1番13号)

株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1 【四半期報告書の訂正報告書の提出理由】

平成20年8月13日に提出いたしました第58期第1四半期(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)四半期報告書の記載事項の一部に誤りがありましたので、これを訂正するため四半期報告書の訂正報告書を提出するものであります。

2 【訂正事項】

第一部 企業情報

第2 事業の状況

3 財政状態及び経営成績の分析

(1) 経営成績の分析

第5 経理の状況

1 四半期連結財務諸表

注記事項

(セグメント情報)

事業の種類別セグメント情報

3 【訂正箇所】

訂正箇所は\_を付して表示しております。

## 第一部 【企業情報】

### 第2 【事業の状況】

#### 3 【財政状態及び経営成績の分析】

##### (1) 経営成績の分析

(訂正前)

略

なお、内部取引消去前の事業の種類別セグメントの業績は以下のとおりである。

(設備工事業)

建設業界においては、民間設備投資が慎重姿勢に転じるとともに公共投資は引き続き低調で推移する中、熾烈な受注競争と資材価格の上昇が続くという、非常に厳しい状況で推移した。

当社グループは、このような環境下において、お客様のニーズに的確に応える提案型の営業活動を積極的に推進する一方、施工効率の向上や徹底したコスト低減施策の実施により、受注の確保と利益の拡大に努力を傾注した。

この結果、完成工事高は 14,478百万円、営業利益は 30百万円となった。

(リース事業)

連結子会社(株)ヨンコービジネスが、工事用機械、車両、備品等のリース事業を行っている。事業環境が厳しい中、与信管理の徹底を行う一方、積極的な提案営業を実施し、売上高は 699百万円、営業利益は 102百万円となった。

なお、「リース取引に関する会計基準」の適用により、営業利益が 59百万円増加している。

(その他の事業)

CADソフトウェアの販売、指定管理業務を中心に、その他の事業の売上高は 246百万円、営業損失は 18百万円となった。

(訂正後)

略

なお、セグメント間の取引消去前の事業の種類別セグメントの業績は以下のとおりである。

(設備工事業)

建設業界においては、民間設備投資が慎重姿勢に転じるとともに公共投資は引き続き低調で推移する中、熾烈な受注競争と資材価格の上昇が続くという、非常に厳しい状況で推移した。

当社グループは、このような環境下において、お客様のニーズに的確に応える提案型の営業活動を積極的に推進する一方、施工効率の向上や徹底したコスト低減施策の実施により、受注の確保と利益の拡大に努力を傾注した。

この結果、完成工事高は 13,736百万円、営業利益は 30百万円となった。

(リース事業)

連結子会社(株)ヨンコービジネスが、工事用機械、車両、備品等のリース事業を行っている。事業環境が厳しい中、与信管理の徹底を行う一方、積極的な提案営業を実施し、売上高は 698百万円、営業利益は 102百万円となった。

なお、「リース取引に関する会計基準」の適用により、営業利益が 59百万円増加している。

(その他の事業)

CADソフトウェアの販売、指定管理業務を中心に、その他の事業の売上高は 244百万円、営業損失は 18百万円となった。

## 第5 【経理の状況】

### 1 【四半期連結財務諸表】

#### 【注記事項】

(セグメント情報)

#### 【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年6月30日)

(訂正前)

	設備工事業 (百万円)	リース事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	14,478	699	246	15,424	(1,104)	14,319
営業利益(又は営業損失)	30	102	18	114	(24)	89

(注) 略

(訂正後)

	設備工事業 (百万円)	リース事業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高	13,736	698	244	14,679	(360)	14,319
営業利益(又は営業損失)	30	102	18	114	(24)	89

(注) 略